

松嶋夜話 卷之下 43

〔原文〕往古有黒象來

〔訓読〕往古、黒象有りて來る

〔原文〕近來亦看白象貢

〔訓読〕近來、亦た白象貢ぐを見る

〔原文〕此象長一丈餘周體五尺可

〔訓読〕此の象長さ一丈餘、周體五尺可り

〔原文〕鼻尖頭四尺幾

〔訓読〕鼻の尖頭四尺幾(ほど)

〔原文〕以鼻尖捲括响喚諸物

〔訓読〕鼻尖を以て捲括して、諸物を响(くら)ふ

〔原文〕有潭綿二夫差之

〔訓読〕潭綿の二夫有りて之を差(つか)ふ

※潭綿…地名? 潭と綿?

〔原文〕爲之克馴扈

〔訓読〕之が爲に克く馴扈す

〔原文〕蓋溫湯異類也

〔訓読〕

※訓読できません

〔原文〕本朝俗諺象來竹枯虎來竹生

〔訓読〕本朝の俗諺に、象來りて竹枯れ、虎來りて竹生える

〔原文〕目今復虎渡

〔訓読〕目、今虎渡る

〔原文〕竹林蘇其綠者乎

〔訓読〕竹林、其の綠を蘇す者か

〔原文〕有何謂唱之

〔訓読〕何の謂（いわ）れ有りて之を唱ふ

〔原文〕漢土風稱世歷一期六十豕則竹枯

〔訓読〕漢土の風稱に、世一期六十豕を歷るときは、則ち竹枯る

※「一期六十豕」…よくわかりません

〔原文〕其痕復有間爲林藪云云

〔訓読〕其の痕間有りて、林藪と為る、云云